

2023年3月30日

## 住友不動産株式会社が発行するグリーンボンドへの投資について



京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、このたび、住友不動産株式会社（以下、「同社」という）が発行するグリーンボンド（以下「本債券」）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、企業や地方自治体等の発行体が、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券です。

同社グループは、総合デベロッパーとして「より良い社会資産を創造し、それを後世に残していく」という基本使命のもと、事業活動を通じて、経済的価値のみならず社会や地域の課題解決に貢献し、将来に渡って必要とされる社会的価値を一体的に創出することで、持続的に企業価値を向上させていく「サステナビリティ経営」を推進しています。

同社はこの取組みを資金調達面においても実践するため、第九次中期経営計画（2023年3月期から2025年3月期）において、総額1兆円を調達するグリーンファイナンス・フレームワーク（以下「同フレームワーク」）を2022年5月に設定しています。

同フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）策定の「グリーンボンド原則」（2021）、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション・アンド・トレーディング・アソシエーション（LSTA）各策定の「グリーンローン原則」（2021）及び環境省策定の「グリーンボンドガイドライン」（2020）、及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（2020）に適合しているとして、株式会社日本格付研究所（JCR）並びに、株式会社格付投資情報センター（R&I）より評価を取得しています。

本債券の発行は、同フレームワークに基づき行われております。また、本債券発行による調達資金は、適格グリーンプロジェクトである住友不動産六本木グランドタワーに対する投資資金のリファイナンスに充当される予定です。

当金庫は、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし持続可能な社会の形成に寄与すべく、今後も社会的使命・役割を果たして参ります。

### <本債券の概要>

銘柄	住友不動産株式会社第111回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）
年限	5年1ヶ月
発行額	300億円
発行日	2023年3月30日